

回会報

新日本美術協会

事務局

千葉県柏市大津ヶ丘

3-17-17-401

森屋治三方

Tel.04-7191-6760

編集委員

本部 小高峯夫

富岡ネム

大石 亨

京都 四方公子

広島 藤原清二

次号平成25年8月予定

第三十六回新日美展・京都巡回展盛況裡に終了

京都巡回展は東京都美術館で実施した全国公募・第三十六回新日美展の入選作品の中から優秀作品及び関西方面出品者の作品、計九十九点(絵画七十六点、工芸十三点)を選抜し京都府京都文化博物館において三月二十七日～三十一日に開催しました。

展覧会はこれまでになく創造表現豊かな作品の多い内容の充実した展覧会となりました。

会期中好天に恵まれ、地元京都を始め関西地方の美術愛好家九百三十名の方々が来場され盛會裡に終える事が出来ました。

本会の目的である「汎芸術を目指しての探究、研磨を通じて新人の育成と美術・文化の向上発展に寄与する」ために開催した、第三十六回新日美展・京都巡回展の事業成果は十分に達成されました。

展示作業完了！ お客さまを待つばかり



楽しかった“がんど”での懇親会



京都巡回展に携わって

京都支部 四方公子

今年には寒暖の差が大きく、桜もあつと言う間に満開となり、気候の変化に戸惑う毎日でした。京都での巡回展が、京都文化博物館で三月二十七日より三十一日まで開催され多くの方々の来館に支部会員一同ホッとしたところです。

今回は来場者の方々から、新日美の作品が一層レベルアップして見応えある会場だと多くの方からの感想を頂きました。

千名近い来客に支部会員だけでは対応するのに大変な時もあり、これからの課題にもなるのではないかと思います。

会場は同時期に人形展と能面展が開催されていましたが、京都らしい落ち着いた雰囲気の良い会場設営が出来たと思います。

今回の展示を機に作品のレベルアップは一層求められるのではないかと思います。

今迄の巡回展では展示されている作品に受賞の添付がされていない事個人的に疑問を感じました。そこで急ぎよキヤプションの横に小さく切り抜きで、文部大臣賞、都知事賞を貼り付けました。今迄ただすくと見ておられたお客さんが小さいながら添付してある大きな賞に気が付かれ、わくわくすいすいですね！と又念入りに見てくださる光景が多々あり、やはり何もつけないで展示されているより、賞はしっかりつけた方が色々な意味でも効果

はあると感じました。ただ作品がずらつと並べられているより、この会はこの大きな賞が付く会なんだと見直されるに違いありません。

欲張りなことかもしれませんがこれ位の宣伝効果も狙っていないのではないかと思います。

近年どの会でも会員の年齢層が高くなり、新人の応募が問題の様です。新日美も同様で各支部の大きな課題になっていくに違いありません。

絵を描く人は多くなっているにもかかわらず、公募展に出ずともかかわらず公募展に出ずとも問題の様です。気楽に出すと気楽に辞めていく、これも問題の一つです。浅く広くが定番になり会の運営も大変な時期に来ていると思います。絵画人口が多くなつても、10号までの作品を描くというのが多いようで、大作を仕上げるというのは門外の様です。すから、これも課題となるでしょう。

ある公募展では大きな部屋を5室も6室も使って展示されていますが、10号位が多くなり、二段掛け三段掛けになっています。こんな事を感じながら、私自身今回の京都巡回展を終えた次第です。

今回の巡回展では、京都二条木屋町のがんど懇親会が開催されました。こは、角倉了以と言う豪商が慶長十六年に建てた別邸で庭も見事なところです。梅の花も満開でライトアップされた庭を見ながら有意義なひと時を過ごしました。